

みずほCustomer Desk Report 2017/03/16 号 (As of 2017/03/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	114.84
TKY 9:00AM	114.67	1.0612	121.65	1.0094	1.2157	0.7566
SYD-NY High	114.88	1.0740	122.05	1.0100	1.2308	0.7720
SYD-NY Low	113.17	1.0605	121.23	0.9986	1.2149	0.7555
NY 5:00 PM	113.39	1.0734	121.70	1.0004	1.2292	0.7710
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.565/8.99		△25RR	0.315	Yen Call Over	

NY DOW	20,950.10	112.73	債券市場	日本2年債	-0.2480	0.7bp
NASDAQ	5,900.05	43.23		日本10年債	0.0970	-
S&P	2,385.26	19.81		米国2年債	1.2994	▲7.7bp
日経平均	19,577.38	▲32.12		米国5年債	2.0030	▲12.6bp
TOPIX	1,571.31	▲3.59		米国10年債	2.4930	▲10.7bp
シカゴ日経先物	19,440	▲65.00	為替市況	独10年債	0.4150	▲3.0bp
ロンドンFT	7,368.64	10.79		英10年債	1.2110	▲1.3bp
DAX	12,009.87	21.08		豪10年債	2.9170	▲0.5bp
ハンセン指数	23,792.85	▲35.10		USD/CNH	6.8477	▲0.0528
上海総合	3,241.76	2.43		ドルインデックス	100.74	▲0.96
USDJPY 3M Vol	9.90	▲0.25%	商品市況	CRB指数	183.795	1.68
USDJPY 6M Vol	9.84	▲0.22%		NY金	1,200.70	▲1.90
EURJPY 3M Vol	12.61	▲0.20%		WTI	48.86	1.14
EURJPY 6M Vol	11.60	▲0.16%		Dubai Spot	49.87	▲0.26

東京	ドル円はシドニー時間にアジア時間安値114.63をつけたものの、直近3日間の安値(114.51/114.48/114.66)が集中する114円台半ばを下抜けする材料はなく、114.67レベルまで値を戻して東京時間オープン。海外時間以降にFOMC・オランダ下院選等の注目イベントが控えていることから動意に欠く状況となり、ドル円は114円台後半で揉みあい推移。正午過ぎには一時高値114.88をつける局面があったものの、更なる上値追いはならなかった。午後後も114円台後半でのレンジ推移が継続し、結局114.77レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、横ばい推移。114.77レベルでオープンすると、FOMCを控えた様子見ムードの中ではあったものの緩やかにドル安に推移し、一時114.57まで下げた。しかし、米2月消費者物価指数(前月比)が予想を上回ったことや、米2月小売売上高の前回値が上方修正されたことで下げ幅をほぼ戻し、114.77まで反発。結局114.60レベルでNYに渡った。ロンドンでは、オープン少し前のアジア時間に1.2170レベルから大きく上昇し、1.2217レベルでオープン。今週のBOE政策決定会合でカ派寄りの内容となつたの観測やIMFが英国の成長を上方修正したこと等が意識された。しかし、その後発表された英1月週平均賃金で賃金上昇の伸びが市場予想比鈍化していたことからドルの上値は抑えられ、1.2193レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 寛)
ニューヨーク	海外時間のドル円はFOMC会合を控え114円台後半での小動きとなり、114.60レベルでNYオープン。発表された米2月消費者物価指数(前月比)が予想を上回ったことや、米2月小売売上高(前月比)の前回値が上方修正されたことが意識される中、114.82まで上昇。その後は114.60を挟んでの方向感の欠く推移が続いた。午後発表されたFOMC金融政策決定会合では、メネズリス連銀がシカゴ総裁を除く全投票メンバーの賛成多数により予想通り25bpの利上げとなった。一方で、ドットチャートによる2017年の利上げ回数の見通しは引き続き3回となり、4回を期待していた一部市場参加者の失望感から113.63まで下落。イレノ議長の見解を控えて114.00付近まで反発したが、会見でも特段ドル買い材料が見当たらない中、再びドル売りが強まり一時安値の113.17まで下落。113.00手前までは下げ渋り、マーケットの注目を集めなかったが、ドットチャートを見ると年内3回かそれ以上の利上げを予想しているメンバーは12月会合の11人から今回14人に増えていたことや、声明文でもインフレが2%の目標値に近づくなどとインフレ見通しが上方修正されたことから113.43まで反発し、113.39レベルで加えた。一方ユーロドルは1.0624レベルでNYオープン。FOMC会合を控え1.06台前半での推移が続いたが、FOMC会合での期待していたよりカ派でなかったことからドル売りユーロ買いが強まり、1.0740まで上昇し、1.0734レベルで加えた。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・坂本

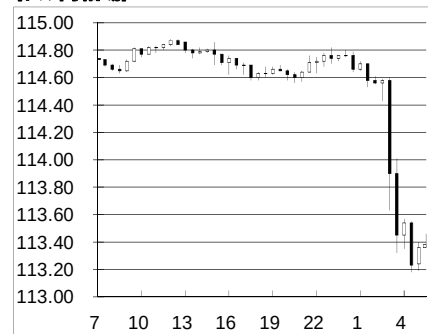
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月15日	13:30	日 鉱工業生産(確報・前月比/前年比)	1月 -0.4%/-3.7%	-/-
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	1月 4.7%	4.8%
	18:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	1月 2.2%	2.4%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	3月 16.4	15.0
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月 0.1%/2.7%	0.0%/2.7%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.2%	0.2%/2.2%
	21:30	米 小売売上高(速報・前月比)	2月 0.1%	0.1%
	-	蘭 下院選挙	-	-
	3月16日 03:00	米 FOMC 政策金利	- 0.75%/1.00%	0.75%-1.00%
	03:30	米 イエレンFRB議長 記者会見	-	-

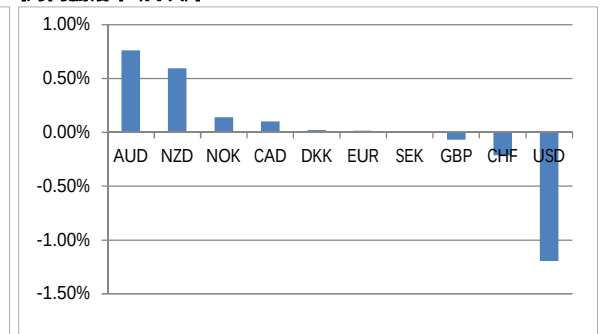
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月16日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	2月 16.0K/5.7%	13.7K/5.7%
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- 0.1%	-0.1%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	2月 0.4%/2.0%	-/2.0%
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	- 0.250%	0.250%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	2月 1,264K/1,268K	1,246K/1,293K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 240K	243K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	3月 30.0	43.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.0680-1.0780	121.30-122.30

【マーケットインプレッション】

FRBは予想通り利上げしたものの、先行きについてペースを速めることを仄めかすことはなく、オランダ選挙での与党勝利の見込みによるユーロの買戻しも相俟ってドルは広範に売られた。ただ、FRBはインフレ見通しを上方修正しており、市場でのカ派寄りの判断は、あくまで事前予想が前のめり過ぎていただけたと思われる。FRBが「異常な緩和状態」から「通常の緩和状態」に戻そうとしているだけであるとの認識は不変。本日はG20の前に積極的には動けないが、来週以降は買い場探しになってこよう。